

令和7(2025)年2月19日
総務常任委員協議会 説明資料

新ごみ処理場事業の概要について

市民生活部 環境課

事業者選定

- R6(2024)12.24 事業者選定委員会による最優秀提案者の決定
- 代表企業 カナデビア(株)
 - 国内の建設実績556件、県内の建設・運営実績 上越市、村上市、長岡市
- 構成企業(土木・建築)
 - (株)植木組、(株)阿部建設、東北工業(株)、大和運送建設(株)、(株)中澤組JV
- 構成企業(プラント)
 - カナデビア(株)・(株)大原鉄工所
- 構成企業(運営)
 - カナデビア環境サービス(株)、(株)宮田才吉商店
- 提案事業費 347億9千万円(建設217億9千万円・運営130億円)

審査の講評(特に評価したポイント)

- リスク管理
 - ・ 組織体制・施設面のリスク把握、事故防止・発生時の対策
- 運營業務期間終了時の引渡し
 - ・ 具体的な引渡し条件や判定条件の確認方法
- 設計・建設業務における地元企業発注
 - ・ 市内事業者への発注額向上の取組
- 公害防止の対応
 - ・ 排ガス中の有害物質基準の遵守、要求水準書以上の環境測定体制
- プラントシステムの信頼性
 - ・ ごみ質・ごみ量の変動に適した設備の構築
- 運転管理体制
 - ・ 専門技術者の配置、1班あたりの運定員数、人材育成・バックアップ体制
- エネルギー回収(発電能力)
 - ・ ごみ質・ごみ量を考慮した運営期間中の余剰電力向上の取組

事業のコンセプト

「力強く心地よいまち 頼もしさを将来へつなぐ」

豊富な実績と最新技術の導入により、自然を守り、災害に強い施設を実現

1. 循環型社会を推進する施設

- ・最適な要監視基準値・運転基準値の設定による確実な公害防止と環境負荷の低減
- ・最新の燃焼制御技術の採用による最終処分量低減

2. 市民が身近で安全・安心を感じられる施設

- ・過去の経験に基づく万全な火災対策や地質条件を踏まえた強靱化対策で、安全安心な施設を整備

3. 高効率なエネルギー回収を可能とする施設

- ・高効率発電システムの採用で余剰電力量を最大化
- ・積極的な消費電力の削減などで、二酸化炭素排出量を削減

4. ふるさとの環境を守る施設

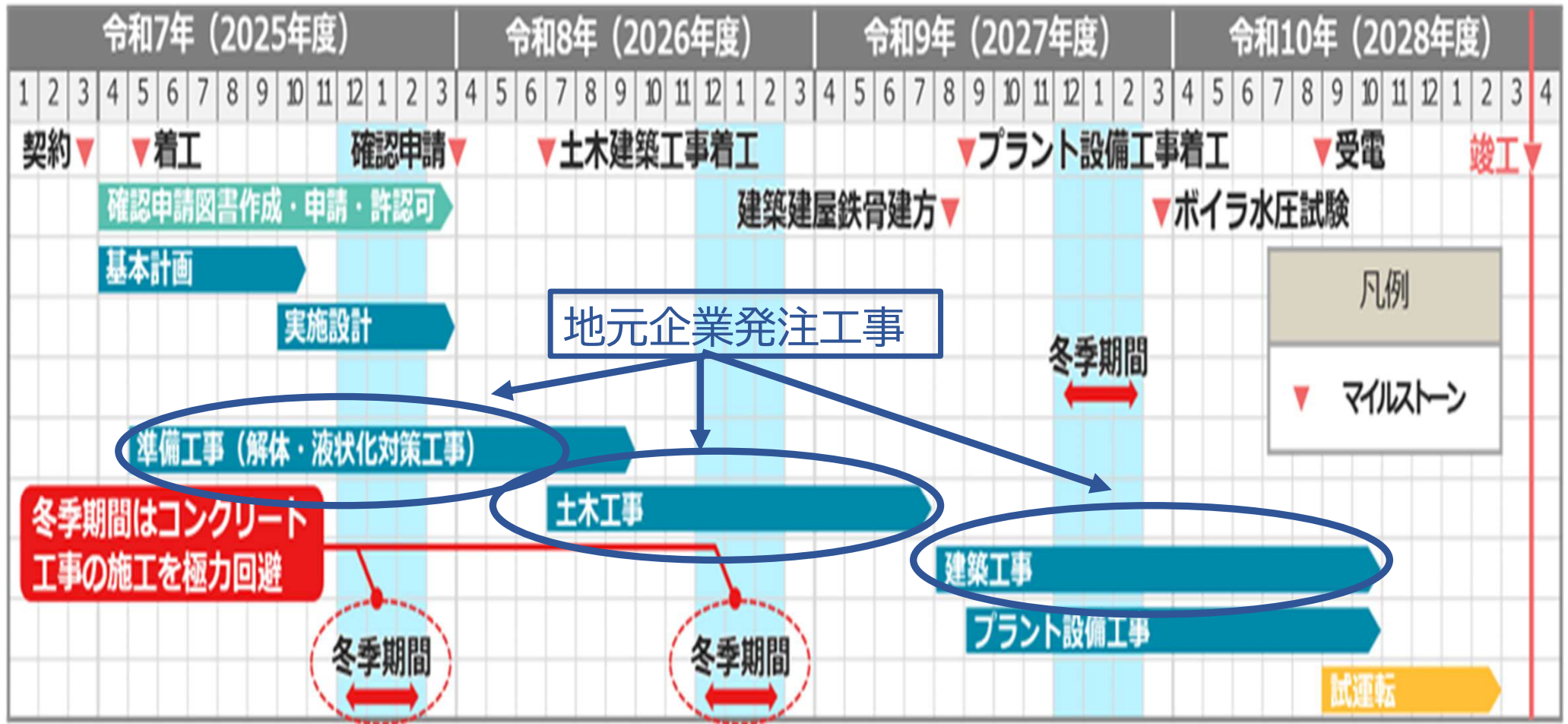
- ・ごみ処理の流れに加え、地域の環境問題を学習できる啓発施設

5. 経済性に優れた施設

- ・30年間のライフサイクルコストに配慮した補修計画の策定



工事工程



工事計画



既設ごみ処理場を稼働しながら、新ごみ処理場を建設、難易度が高い工事になる。

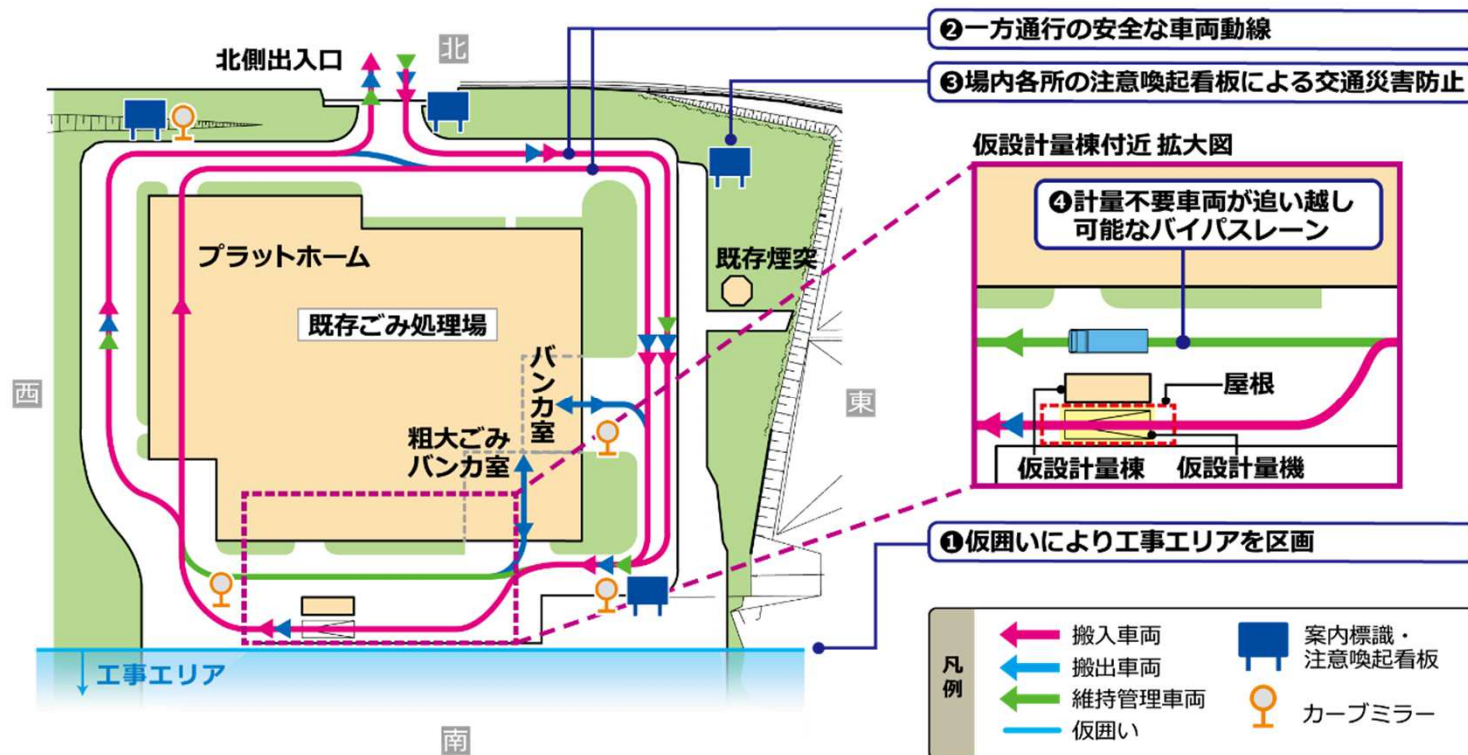
仮設工事

- 現駐車場に仮設事務所建設
- 一般ごみ、粗大ごみ等の受入
- 剪定枝、雑草の受入
- ペットボトル、プラスチックなどの中間処理
- 小学生見学など、現オペレーションは継続

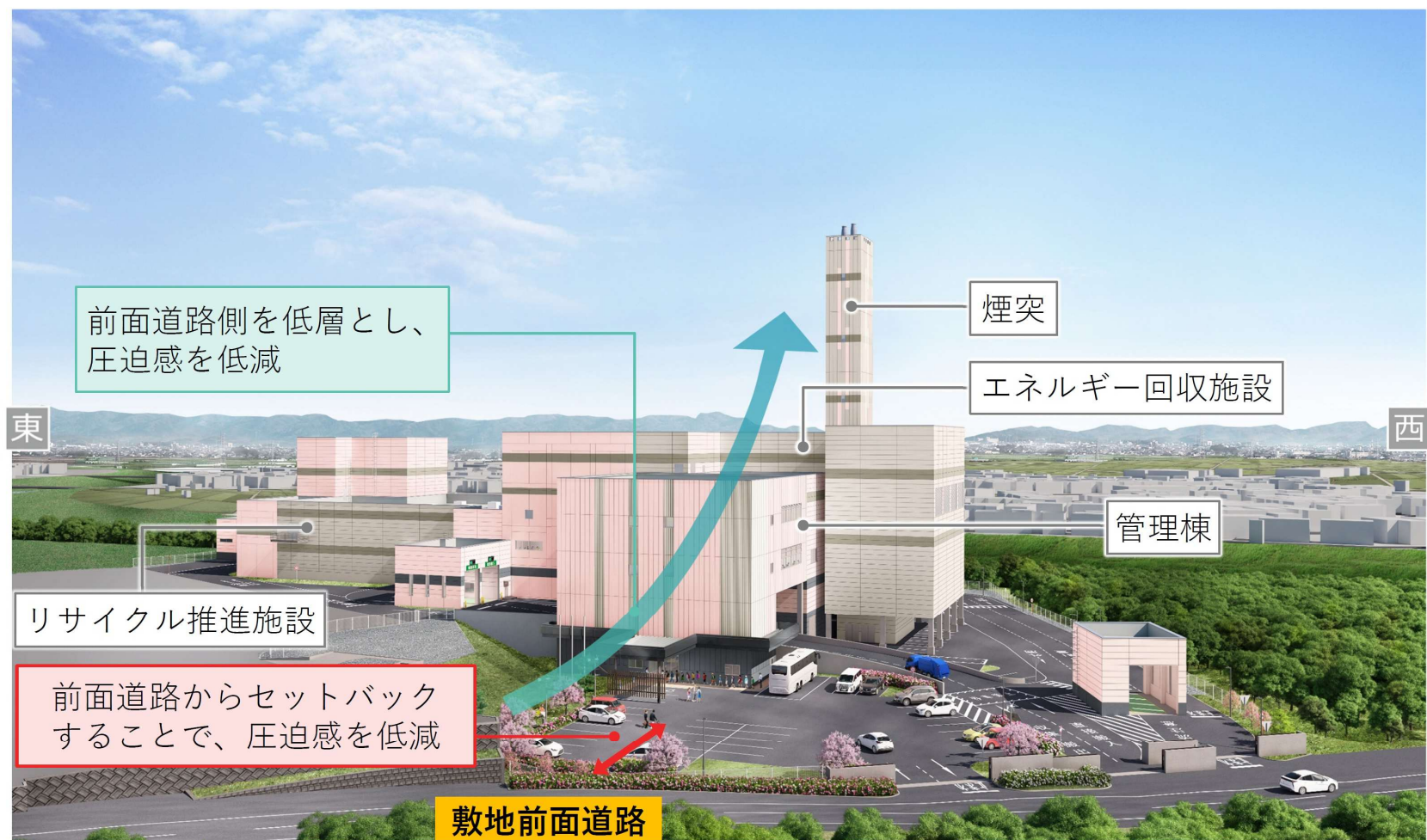


既設ごみ処理場の運営

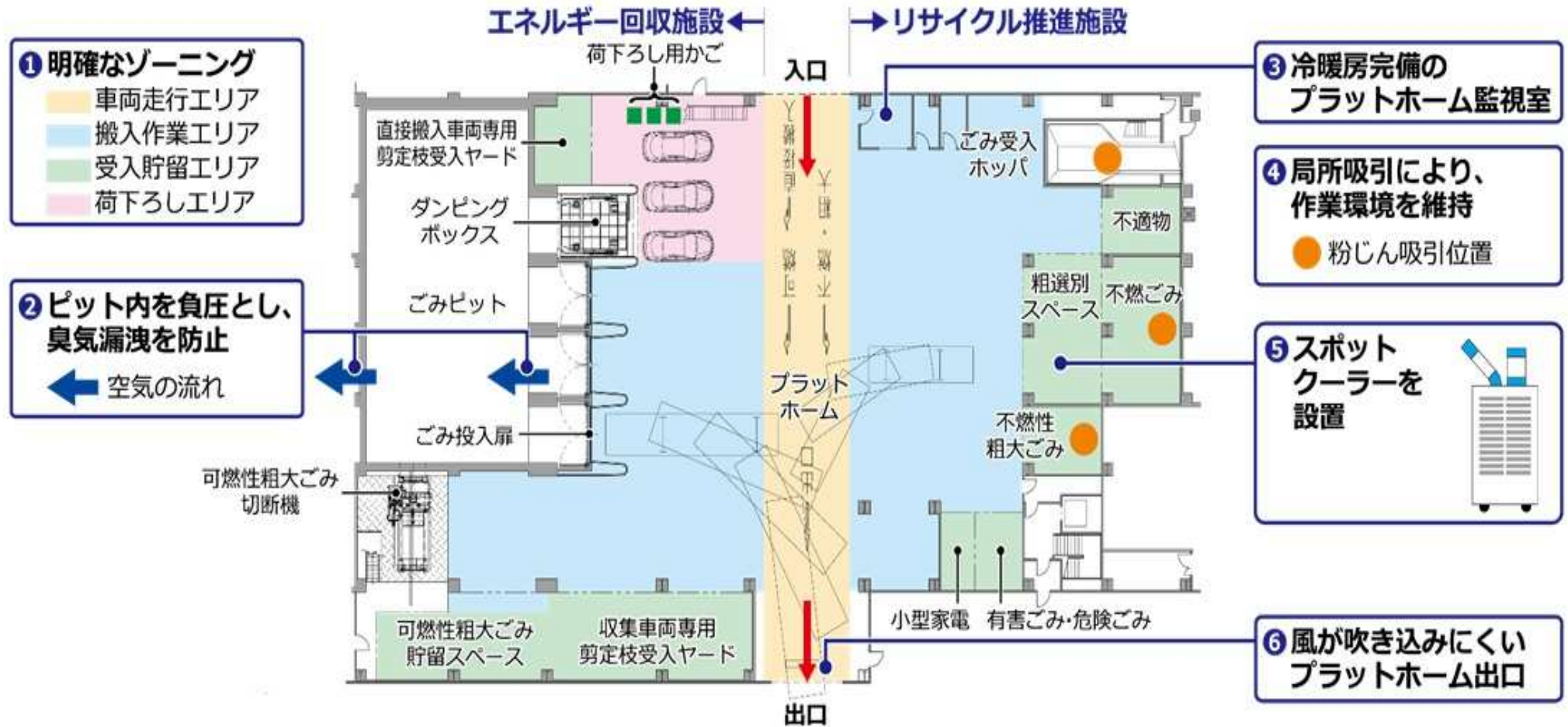
- ・ 収集事業者のみ入場、市民の搬入は仮設事務所で受入



新ごみ処理場の完成イメージ



プラットフォーム(ごみ搬入エリア)



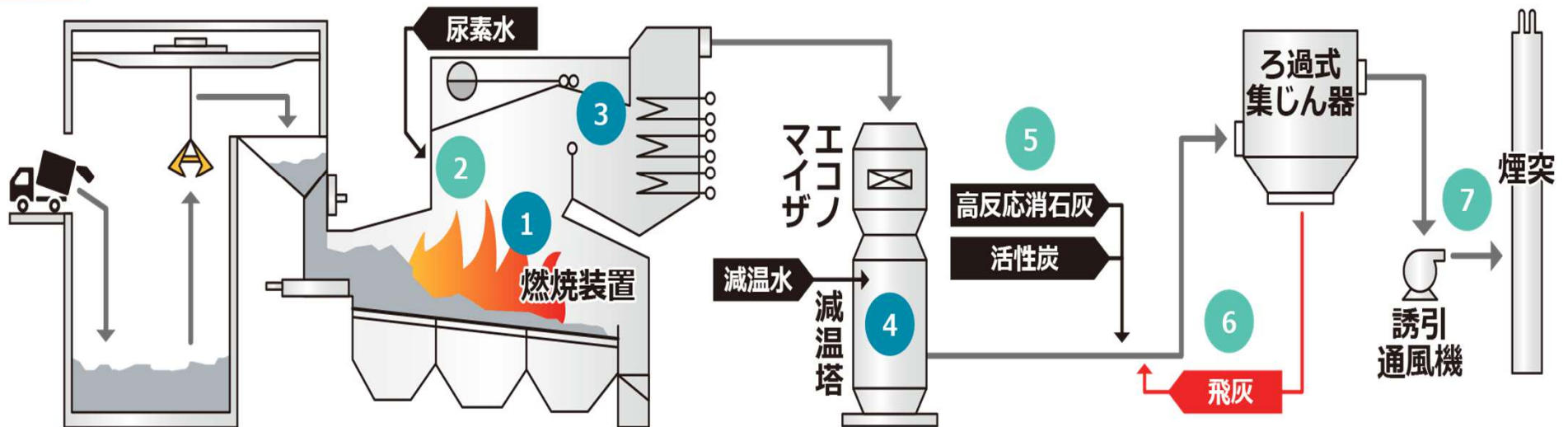
エネルギー回収型廃棄物処理施設(焼却ごみ)

①	対策	独自の自動燃焼制御
	効果	NOx・CO・ダイオキシン類の発生抑制
②	対策	無触媒脱硝装置
	効果	NOxの安定除去
③	対策	応答速度が速いレーザー式O ₂ 濃度計による酸素濃度制御
	効果	NOx・CO・ダイオキシン類の発生抑制

④	対策	減温塔による急冷
	効果	ダイオキシン類の再合成を抑制
⑤	対策	高反応消石灰・活性炭吹き込み 排ガス温度：175℃に設定
	効果	HCl・SOx・ダイオキシン類・水銀を安定除去

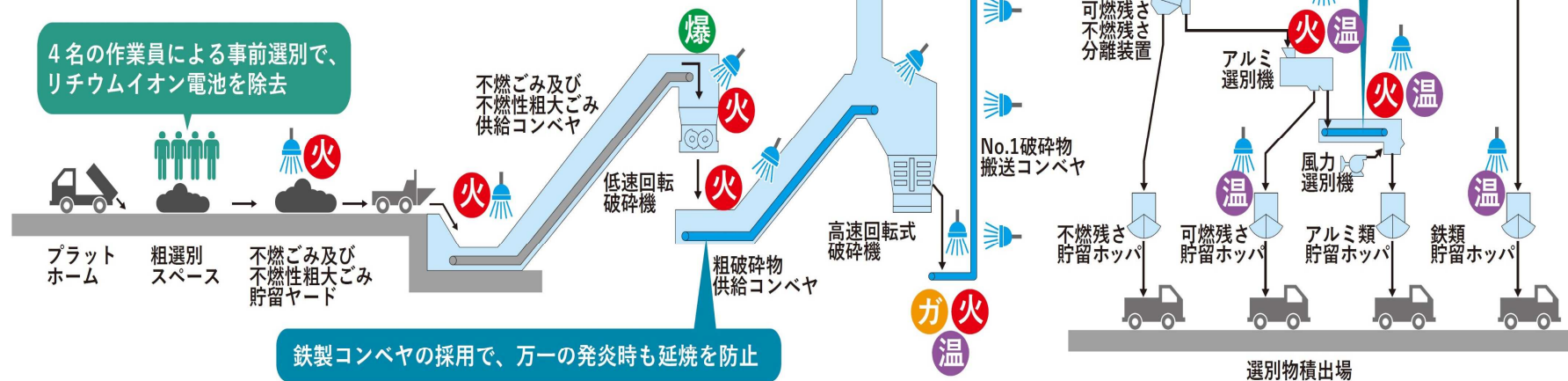
⑥	対策	集じん灰再循環システム
	効果	HCl・SOx・ダイオキシン類・水銀を高効率除去
⑦	対策	応答速度が速いレーザー式HCl濃度計による消石灰量制御
	効果	HClの安定除去

: 抑制技術
 : 除去技術



マテリアルリサイクル推進施設(不燃ごみ・不燃性粗大ごみ)

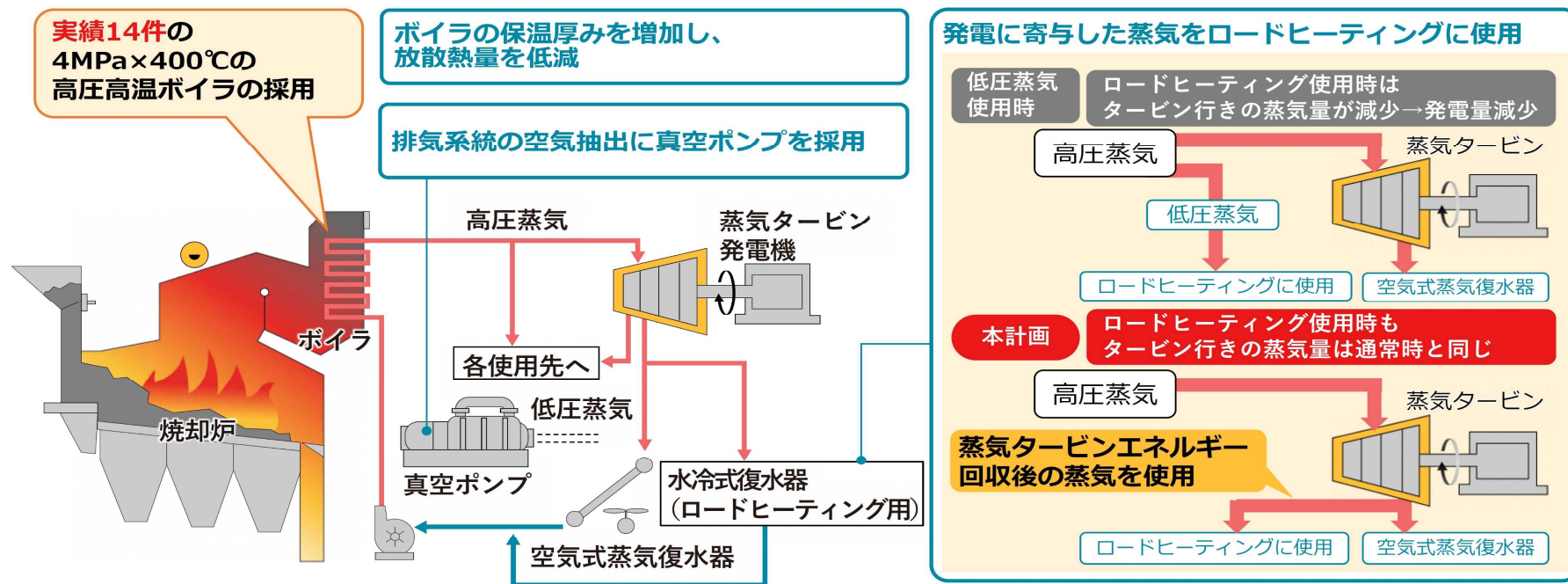
凡例	特徴
 自動散水消火設備	各種検知器と連動して散水
 火炎検知器	検知速度の早い紫外線検知式を採用し、火炎を即座に検出
 可燃ガス検知器	爆発限界以下の低濃度も検出
 爆発検知器	リミットスイッチ方式で瞬時に検出
 温度検知器	サーモカメラ式で細かい温度変化を検知



エネルギー回収能力(発電能力)

- ・ 型式 蒸気タービン型 発電能力 1,710KW
- ・ 年間余剰電力 一般家庭 ※約1,200世帯分

※出展元：環境省令和3年度世帯当たり年間エネルギー種別消費量より換算



環境学習機能(施設見学)

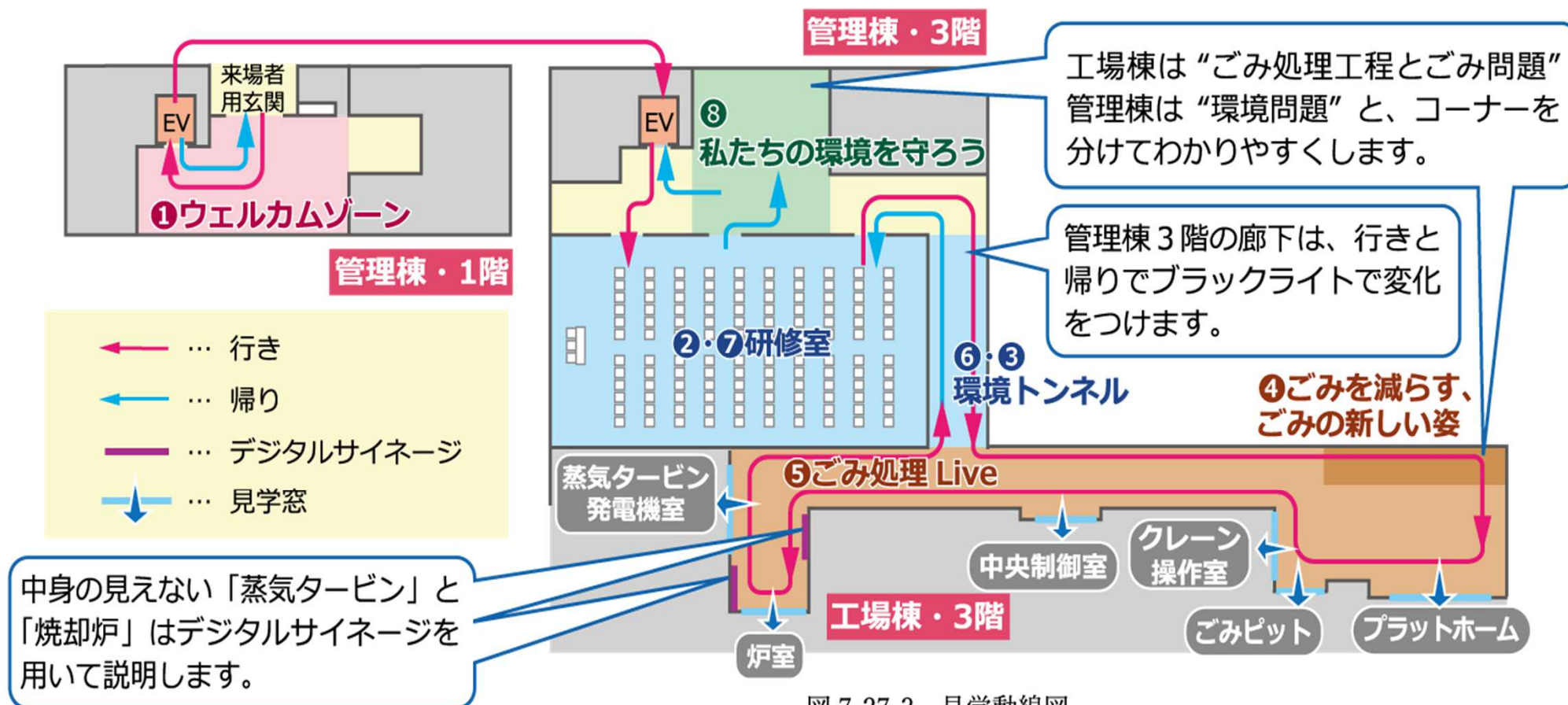
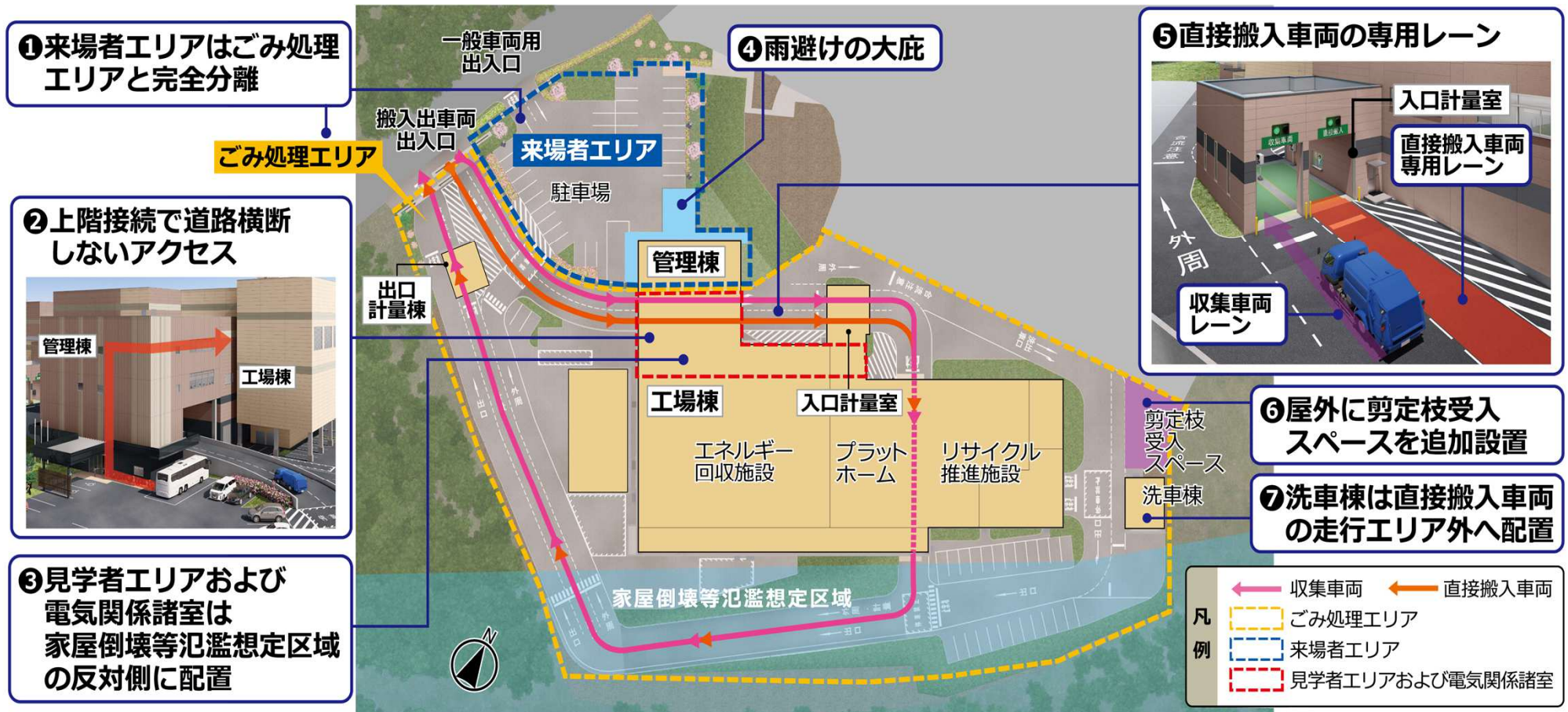


図 7-27-3 見学動線図

ごみ処理導線計画



新ごみ処理場 令和11(2029)年3月完成予定

4年の工事期間と20年の運営
期間が始まります。
市民の皆様や周辺住民の皆様
のご理解を得ながら、事業を進
めてまいります。

